

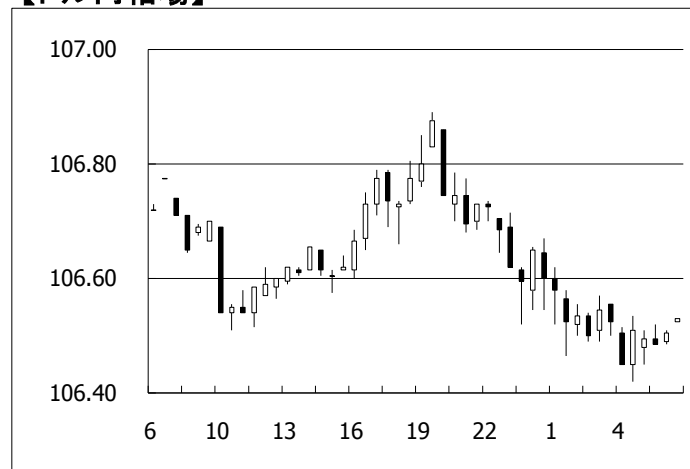
みずほCustomer Desk Report 2020/05/07号 (As of 2020/05/05)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	-
TKY 9:00AM	106.69	1.0905	116.35	GBP/USD	1.2450
SYD-NY High	106.89	1.0926	116.53	GBP/USD	1.2483
SYD-NY Low	106.42	1.0826	115.42	GBP/USD	1.2422
NY 5:00 PM	106.53	1.0838	115.43	GBP/USD	1.2438
NY DOW	23,883.09	133.33	日本2年債	-	-
NASDAQ	8,809.12	98.41	日本10年債	-	-
S&P	2,868.44	25.70	米国2年債	0.1892	0.60bp
日経平均	-	-	米国5年債	0.3742	1.42bp
TOPIX	-	-	米国10年債	0.6611	3.14bp
シカゴ日経先物	19,545	155	独10年債	-0.5795	▲1.50bp
ロンドンFT	5,849.42	95.64	英10年債	0.2045	▲2.55bp
DAX	10,729.46	262.66	豪10年債	0.8820	2.40bp
ハンセン指数	23,868.66	254.86	USDJPY 1M Vol	7.68	▲0.20%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	8.14	▲0.10%
NY金	1,710.60	▲2.70	USDJPY 6M Vol	8.45	▲0.10%
WTI	24.56	4.17	USDJPY 1M 25RR	-1.55	Yen Call Over
CRB指数	123.64	5.12	EURJPY 3M Vol	9.27	▲0.05%
ドルインデックス	99.71	0.23	EURJPY 6M Vol	9.66	▲0.02%

アジア	アジア時間を106.69レベルでオープンしたドル円は、取引閑散かつ動意に欠ける展開。朝方は売りが先行し106.51まで下落する場面があるも、午後にかけてじり高となり結局106.67レベルにて海外時間へ渡った。(香港時間14:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.67レベルでオープン。新規材料に欠けるなか、レンジ内の推移に終始した。106.73レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0912でオープン。欧州中銀(ECB)の量的緩和政策に対するドイツの違法判決で、ユーロ圏の金融政策が不透明となり、ユーロドルが1.0826まで急落。1.0833レベルでNYに渡った。(ロンドン時間17:00)
ニューヨーク	106.73レベルでNYオープン。朝方は米通商代表部(USTR)が、2018年に課された2000億ドルの関税の一部の商品について、最長12か月の除外延長を検討していると発表したことから、過度な米中関係に対する懸念が後退し、ドル売りが一旦持ち込まれ、106.52まで下落する。10時に発表の米4月ISM非製造業景況指数は41.8と予想38を上回ったものの、事業活動、新規受注、雇用等の構成指数が大きく低下し、通常はポジティブサインとみられる入荷遅延指数が大幅に増加したのは、サプライチェーンが崩れているサインとの見方もあり、ドル円の反応は限定的となる。その後一旦106.67まで戻す局面もあったものの、原油相場が今後の需要期待から買い戻される展開に、コモディティ通貨買い、ドル売りが強まり、ドル円は106.47まで下落する。午後はペンタゴン米副大統領がウイルス対策チーム解散を検討とのヘッドラインに、106.42まで一旦下落するが、解散後は連邦緊急事態管理庁(FEMA)に移行することからその後は下げ渋る。終盤に掛けては安値圏での推移が続き、106.53レベルでクロスした。一方、ユーロドルは独連邦憲法裁判所の判断を受け、海外市場で1.0826まで急落し、1.0833レベルでNYオープン。朝方はUSTRのヘッドラインにドル売りが持ち込まれ1.0887まで戻すが、ユーロ円の下落に上値を抑えられ1.0834まで反落する。午後は、方向感のない推移が続き、1.0838レベルでクロスした。(NY井上)

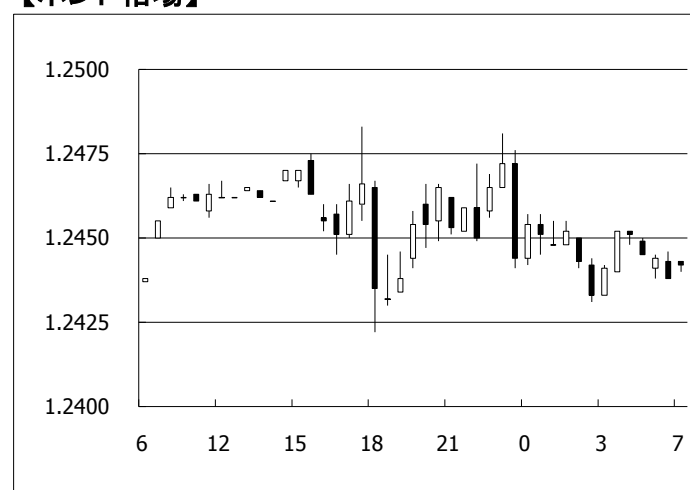
【ドル円相場】



【ユーロ円相場】



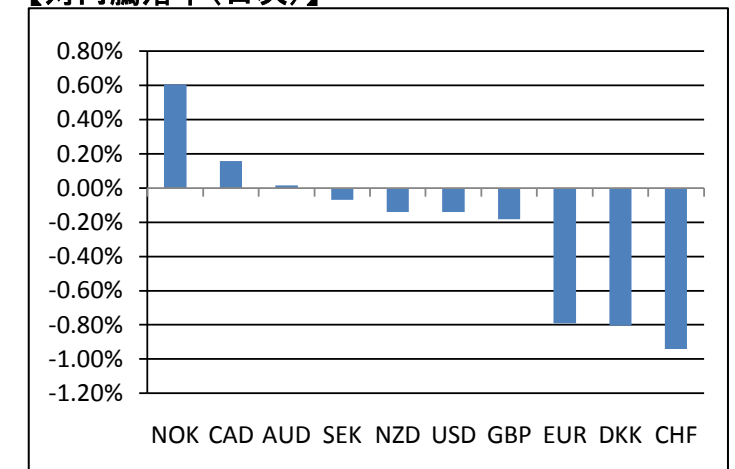
【ポンド相場】



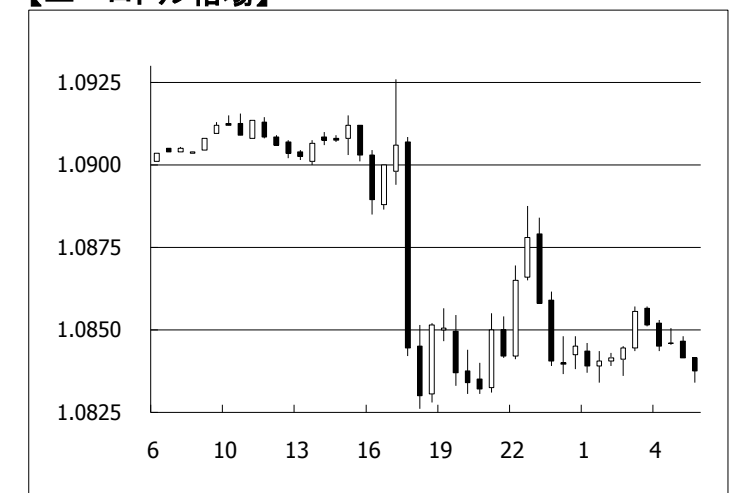
当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

市場営業部 為替営業第二チーム

【対円騰落率(日次)】



【ユーロドル相場】



【豪ドル相場】

